

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 秋田県建築士会 (湯沢雄勝 建築士会 青年委員会) 事業名 サンロード商店街への提案

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他()

●活動の背景
 平成25年の青年大会において、サンロード商店街を題材としたワークショップを行なった際、商店街の方々にも審査員として参加していただきました。そのことがきっかけで、現在老朽化が進み、耐震不足と判定されたサンロードのアーケードを今後どのようにすべきか提案してほしいという依頼を湯沢雄勝青年部が受けました。平成27年に商店街への提案を行なったが、引き続き研

●活動目的
 サンロードへの提案をきっかけに、商店街とまちづくりについての理解を深める。また、研究する場において会員の交流を深め、新たな会員の拡大につなげる。

●活動内容と成果
 ◆8/5 事業内容の打合せ ◆9/2 事業内容の打合せ ◆9/13、9/20、10/4、10/25、11/8、11/22、12/6、12/20 商店街の模型作成 場所：家乃森工房舎(会員事務所)内 時間18:00~20:00

●集客方法
 会員への連絡

●活動収支	収入	0円						支出	16241円
-------	----	----	--	--	--	--	--	----	--------

●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		8名	-	8名		-	-	-	-	-

連携・協力組織



写真① 打合せ風景



写真② 商店街模型写真

●今後の課題
 平成27年度の地域実践活動への参加者は5人、28年度は8人と増え始めている。引き続き、現在入会している会員に活動への積極的参加を呼びかける。

●今後の計画
 商店街とまちづくりの研究を継続し、商店街への発表を行なう。会員に地域実践活動への参加を呼び掛ける。

問い合わせ先	(一社) 秋田県建築士会 湯沢雄勝建築士会	担当者	加納 大輔
連絡先	TEL 0183-55-8708 FAX 0183-55-8709	e-mail	kano-atelier@wonder.ocn.ne.jp
ホームページアドレス			

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 秋田県建築士会 横手支部 事業名 つくってあそぼう

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他(横手市、横手市子ども会育成連合会)

●活動の背景
 子どもたちが放課後や休日により豊かな体験が出来るように、造形活動を主体とした遊びを提案する「つくってあそぼう」への協力が毎年、横手市と横手市子ども会育成連合会から依頼される。活動趣旨に賛同し、当会も参加することとした。

●活動目的
 子どもたちの造形に対する関心を高めることや、刃物の正しい使い方を学ばせること、そして当会のPRも兼ねて活動することとした。

●活動内容と成果
 9月17日(土)9:30~12:00に大雄農業者トレーニングセンターにて開催された。対象は市内の小学生とその親御さんで、80名程の参加者であった。
 当会では折り紙建築と網代編みを体験してもらった。折り紙建築では、1枚の紙とカッターだけで立体的な建築が出来るさまに、多くの子どもたちの歓声と達成感が伝わってきた。網代編みでは、あらかじめこちらで細い薄板を用意し編んでもらった。色とりどりのテープやビーズなども用意し、子どもたちに自由に飾り付けしてもらったが、大人にはない発想に、こちらも楽しませてもらった。
 会員数の減少が悩みではあるが、この中から未来の建築士が生まれることを期待している。

●集客方法
 市内の全小学校に配布される「つくってあそぼう」の案内による

●活動収支	収入	40,000円(当会予算)						支出	40,000円
-------	----	---------------	--	--	--	--	--	----	---------

●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		10	30	40名				30	50	80名

連携・協力組織 主催：横手市、横手市子ども会育成連合会
 他協力団体：森の王国サルバ、横手市造形教育研究会、横手市建設技能協同組合、市子連・ジュニア



写真① 会場風景



写真② 網代編みの様子

●今後の課題
 毎年の恒例行事となり、横手市からも期待されている感がある。マンネリとにならない為にも、子どもたちに飽きられない工夫をしていきたい。

●今後の計画
 年1回の活動ではあるが、他の建築士会から協力の要請があれば、引き受けたいと思う。

問い合わせ先	(一社) 秋田県建築士会横手支部	担当者	齋藤 智裕
連絡先	TEL 0182-53-2650 FAX 0182-53-3450	e-mail	tkuto@jade.plala.or.jp
ホームページアドレス			

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名(支部等含む) 仙北建築士会 青年委員会 事業名 住宅新築・リフォーム講座

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他(大山市健康文化活動拠点センター・ペアール大仙)

●活動の背景
 一般消費者にとって、家づくりをする際、情報がたくさんありすぎてどれを信じたらいいかわからない。安心して初歩的な内容を聞ける場所を作ってほしい、とペアール側から建築士会に講座開設の要請があったのが当初のきっかけ。

●活動目的
 ・市民(これから家づくりをしたいと思っている人)に、住まいづくりに関する知識をまんべんなく持っていただく機会の提供
 ・家づくりにおいては、様々な選択肢がある事を知ってもらう(唯一の正解はなく、それぞれの家族により解は異なる)
 ・建築士会が「公の立場」で講座を開く事で、参加者には安心して学んでいただける機会をつくる

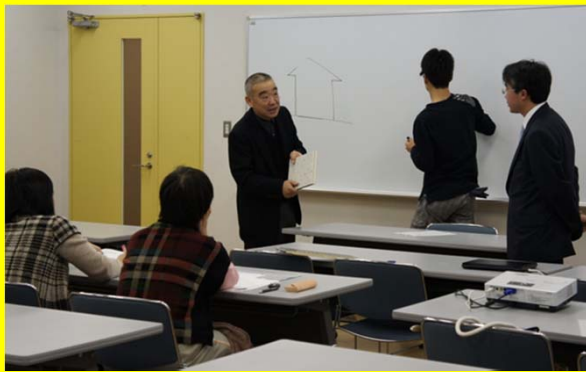
●活動内容と成果
 〈活動内容〉 開催日:1月~3月隔週(H22年~) 開催場所:ペアール大仙
 「住宅新築・リフォーム講座」の実施
 対象:一般消費者向け 連続6回シリーズ(参考:ペアール大仙の受講料6,600円)
 講座内容(H27年度実施) 隔週水曜 18:30~20:30
 第1回:「3度家づくりをした人の話」「新築・リフォーム・中古物件 我が家にはどれがベスト?」
 第2回:「家づくりのスケジュールとお金」 期間とお金、実際どのくらいかかる?
 第3回:「あるお宅のシュミレーション~リフォーム編~」事例紹介/スケジュール/費用/様々な材料/インスペクション等
 第4回:「あるお宅のシュミレーション~新築編~」事例紹介/スケジュール/費用/様々な材料、長所と短所
 第5回:「空気環境と省エネ/暖房・給湯器どう選ぶ?」熱源・造り方・材料、種類、最近何がいいの?
 第6回:「いつ誰に相談したらいい?あれこれ」「依頼先を決めるには」(工務店、設計事務所、ハウスメーカー)
 ※銀行やファイナンシャルプランナーより講座の一部を担当して頂いている
 〈成果〉
 ・士会の若手会員が一般的なことを扱って、ベテランが経験に基づいた地域の知恵・地域色を補足する→若手の勉強になる
 ・一般の方にはわかり易く伝えることができるか、練習になっている。
 ・建築士会が他団体のイベントでも講師として呼ばれる機会が増えてきている。

●集客方法
 ①ペアール(講座募集用)発行の講座案内チラシ、②講座案内チラシ、③地元フリーペーパー掲載、④会員個人のフェイスブック発信

●活動収支 収入 仙北建築士会:30,000円 ペアール大仙:15,000円 支出 45,000円(資料印刷代、外部講師謝礼、広告費等)

●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		5~10	0	5~10		0	0	10~15	0	10~15

連携・協力組織 大山市健康文化活動拠点センター・ペアール大仙(講座募集用)



写真①: ベテランと若手によるレクチャー

写真②: 材料紹介(他団体へ出張講座にて)

●今後の課題
 ・講座を担当する若手会員の増強
 ・より多くの市民に講座および建築士会の存在を知っていただきたい(継続した広報の必要性)
 ・士会員のさらなる知識向上、接遇態度向上の機会づくり

●今後の計画
 ・マンネリ化しないよう、毎回市民や参加者のニーズ(知りたいこと・困っていること)を聞き、検討・改訂を続ける。
 ・シリーズ物でない、単発講座の企画

問い合わせ先 仙北建築士会(株長岐建築設計事務所内) 担当者 草薙 渉

連絡先 TEL 0187-62-4320 FAX 0187-62-0213 e-mail nagaki@mx4.et.tiki.ne.jp

ホームページアドレス

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 秋田県建築士会 (由利建築士会 青年委員会) 事業名 由利本荘市民まつり協賛事業 木工教室

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他()

●活動の背景
 建築士の働いている場所や住んでいる地域には、職能を生かせる社会活動の場がたくさんあり、多くの人からその機能が求められているため実施します。

●活動目的
 建築士の持っている職能を生かし、建築に身近な木を使用し、ものづくり体験を通して建築への興味を引き出します。活動を通して、建築士会や建築士を一般市民の皆様にも広く周知します。

●活動内容と成果
 イベントでは椅子を製作してもらうために、10月16日にあらかじめ材料の加工作業を行った。(会員参加者7名、内親会4名) 10月22日に由利本荘市文化交流館「カダール」にて「由利建築士会 木工教室」を開催。(会員参加者5名)
 木製椅子の材料を来場者に組み立てて頂き、無料で差し上げます。普段あまり触れることのない、金づちやインパクトドライバーを実際に使用し組み立てていきます。かなづちの大きな音に釣られ多くの来場者が足を止めて行かれました。お年寄りから子供まで出来る作業となり、多くの来場者に喜ばれていました。
 参加した親子からは、
 ・普段触ることのない道具を実際に使い椅子を完成させることができて良い経験となった。
 ・最初は子どもに作らせるつもりだったが、親も夢中になり楽しかった。
 とのお話など聞くことが出来ました。
 9時から開始し13時には用意した椅子70組が売り切れとなり、大好評となりました。参加者はあちこちで金づちの音を出しながら楽しんで取り組んでいましたが、スタッフの人員不足もあり、混雑が多く建築士会のPRが出来なかったのが反省点の一つでした。

●集客方法
 主催者の由利本荘市民まつりのポスターによる告知
 会員による声掛け

●活動収支	収入	事業予算 本会計 50,000円							支出	49,600円
	●来場者	12名	-	12名	-	-	91名	72名	163名	

●来場者
 運営側 建築士会 他団体 計 参加者 会員 建築士 一般 子ども 計

連携・協力組織 由利本荘市民まつり主催者：由利本荘市



写真① おじいちゃんを筆頭に家族で作成中！

写真② 自分で作った椅子の出来上がりにうれしそう！

●今後の課題
 スタッフの人員不足もあり、順番待ちの列に対して対応することも困難であった。建築士会のPRといった点も難しい状況であった。

●今後の計画
 課題を精査し、スタッフの人員確保とPRブースの設置や、順番待ちの際のちょっとした遊びを検討したい。

問い合わせ先 (一社) 秋田県建築士会 由利建築士会 担当者 工藤博臣
 連絡先 TEL 0184-23-3588 FAX 0184-23-3558 e-mail hk-55@arion.ocn.ne.jp
 ホームページアドレス

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 秋田県建築士会秋田中央支部 事業名 住宅新築・リフォーム講座～体験してみよう～

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他()

●活動の背景
 青年部会員の中に秋田県建築士会の事業として行われている「住宅新築・リフォームプロジェクト」のメンバーが3名いたため、住宅新築・リフォーム講座の開催に合わせ、青年部の活動イベントを共催する形で、建築士会の周知と地域の方々との交流を目的としたイベントを入通りの良い秋田拠点センターアルヴェ1階きらめき広場で行いました。

●活動目的
 建築士会の活動を地域の一般市民の方々へPRするとともに、建築士とコミュニケーションを取りやすい関係づくりを目指しました。
 ～体験してみよう～と銘打ち建築に関する事にかかわらず、参加者に色々な体験を行なっていただいて建築士会の周知を目的としました。

●活動内容と成果
 ①断熱材の家型体験ブースを設置し、中に100W電球を一つ設置し、内外の温度差を表示しながら出入してもらいました。断熱材の効果は勿論、100W電球での暖房能力も体験できました。また、子供たちの喜ぶ顔も見れ楽しいスペース作りができました。しかし、会場全体が暖房が効いており、実際の温度差は期待していたほどの表示はできませんでした。
 ②バルーンアートや苔玉を来場者とともに作りました。子供連れの来場者を多数集客でき、主催者との会話も弾む和やかなスペース作りができました。
 ③来場した子供たちに木を鉋で削る体験をしてもらった。初めての体験と木の香りや鉋クスの物珍しさに目をキラキラさせて挑戦していた。ものづくりの楽しさが伝わった感じがしました。
 ④こだわりの器でのコーヒーを提供しました。

●集客方法
 ①会場及び会場周辺へのフライヤーの掲示。②秋田魁新報(新聞)への掲載④秋田中央支部会員へフライヤーをメールにて送付③青年部会員スタッフによる声掛け④その他

●活動収支

収入	青年部会予算16,000円(参加部員日当) + バルーン・ミニ鉢・雑材等30,000円 = 46,000円	支出	46,000円
----	---	----	---------

●来場者

運営側	建築士会(青年部会)	講座メンバー	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
	8人	2名(女性)	10人		2人	2人	50人程度	20名程度	約80名

連携・協力組織 主催：一般社団法人 秋田県建築士会 共催：秋田中央建築士会青年部会



写真① イベント全体の様子

写真② 断熱材体験ブースの様子

●今後の課題
 ・来場者とゆっくり話ができるスペースを準備したものの、思ったより活かせなかった気がします。飲料の提供や居心地の良い場所づくりを建築士会独自の観点で提供したいと思います。

●今後の計画
 今後については、社会貢献活動として引き続き企画運営を行います。

問い合わせ先 (一社)秋田県建築士会 秋田中央建築士会 青年部会 担当者 北嶋 洋一
 連絡先 TEL 090-9516-0176(携帯) FAX 018-853-1719(勤務先) e-mail info@kitazima-kenchiku.com
 ホームページアドレス なし

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 秋田県建築士会 (能代山本建築士会 青年委員会) 事業名 旧料亭 金勇 ボランティア清掃活動

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他()

●活動の背景
 能代にある国登録有形文化財「旧料亭 金勇」の維持管理に貢献できる活動をする。

●活動目的
 国登録有形文化財「旧料亭 金勇」の維持保存と建築士会の周知活動として。

●活動内容と成果 開催日：28年10月12日(水) 開催場所：「旧料亭 金勇」
 「旧料亭 金勇」は明治23年(1890年)に創業しています。現在の建物は昭和12年(1937年)に建て替えられた物で、県内屈指の老舗料亭として親しまれてきました。当時東洋一の木都と呼ばれた能代市の文化や木材加工技術の繁栄を伝える貴重な歴史的建造物として平成10年(1998年)に国登録有形文化財に登録されています。その後、平成24年(2012年)1月から改修工事が行われ平成25年(2013年)10月にリニューアルオープンし現在に至ります。当時の改修工事に携わった会員もおり、今回のボランティア清掃活動は改修工から現在までの経年変化等の調査も兼ねた活動になりました。清掃をし建物が綺麗に保たれる事は勿論、いろいろな場所を見て清掃する事で破損している部分等を把握し修理する事にもつながりました。

●集客方法
 建築士会会員内での電話連絡やメール等での案内。

●活動収支	収入				支出				計	
	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		8名	-	8名		-	-	-	-	-

連携・協力組織 なし



写真① 参加者集合写真



写真② 参加者による清掃活動の状況

●今後の課題
 国登録有形文化財「旧料亭 金勇」の維持保存の為に定期的なボランティア清掃活動の実施。

●今後の計画
 定期的にボランティア清掃活動を行い、更に建築士会の周知も高める。

問い合わせ先 (一社) 秋田県建築士会 能代山本建築士会 担当者 加藤一喜
 連絡先 TEL 0185-87-3762 FAX 0185-87-4104 e-mail hkato@shirakami.or.jp
 ホームページアドレス

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) (一社) 秋田県建築士会 大館・北秋田建築士会 事業名 親子で工作

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他()

●活動の背景
 近年、部員不足また予算が不足する中での青年部活動であり、他団体との連携を模索した第一弾となる。
 当建築士会青年部員も加盟している団体との連携で集客力のあるイベントにてブースを構えることにした。

●活動目的
 建築士の仕事や建築士会活動を一般市民にPRするとともに、将来を担う子どもたちに工作を通して、楽しく「建築」に触れ合うことのできるイベントを目指す。

●活動内容と成果

 日時 : 平成29年1月21日(土)・22日(日) 9:00~17:00 (22日16:00まで)
 開催場所: ホテルクラウンパレス秋北
 地元工務店グループ(工務店10社)「水廻り工房」との併催で新春住まいフェア会場にておうち箱コーナーを担当。
 フェアは5回目ですが毎年、7月と1月に行っている。毎回300名を超える集客がある。
 おうち箱の製作キットを使用し製作のお手伝いをする。

●集客方法
 ①チラシ配布(1000枚) ②地元紙への広告

●活動収支	収入	0円						支出	0円	
	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
●来場者		6	15	21				18	32	50

連携・協力組織 水廻り工房 三浦会



写真①

写真②

●今後の課題
 建築士会のPRは難しかった。

●今後の計画
 建築士会の会員の減少に伴い、青年部員も該当者が年々減少している。今後も他団体との連携を模索していきたい。

問い合わせ先 大館・北秋田建築士会 担当者 長谷部 徹
 連絡先 TEL 0186-55-3820 FAX 0186-55-3826 e-mail toru@hasebehome.com
 ホームページアドレス

地域実践活動事例報告シート

平成28年度 北海道ブロック 東北ブロック 関東甲信越ブロック 東海北陸ブロック 近畿ブロック
中四国ブロック 九州ブロック

建築士会名 (支部等含む) 秋田県建築士会鹿角支部 事業名 かつの元気フェスタ

●活動の種別 建築物調査、保存・再生 景観形成、街並み保存・修景 地域活性化 教育・人づくり
防災まちづくり ユニバーサルデザイン 環境保全 住まいづくり 住環境整備 会員拡大
建築士(会)の周知 次世代育成 その他()

●企画運営団体 上記建築士会名 その他(鹿角建設技能組合・鹿角十和田建設技能組合)

●活動の背景
 ・少子高齢化の状況について、建築に関する技能者や建築士の業界においても高齢化が顕著であり、若い世代の人材の確保が必要となっている。

●活動目的
 ・子供達に建築に興味を持ってもらい、将来の職業として、建築技能者、建築士を認知してもらう。
 ・技能士と建築士は、普段から木造建築物の設計に多数かかわることから、地域循環型産業(木を植える～育てる～伐る～造る)の一部を担っている。
 ・将来、地域循環型産業を担っていく子供達に関心をもってもらうため、木々との関わりが深い中生活していることを認識してもらう。

●活動内容と成果
 <開催日及び場所>
 平成28年9月18日(日) 鹿角市記念スポーツセンターにて
 <活動内容>
 ・模擬上棟式…模擬上棟式を子どもの大工さんといっしょに行い、来場者へ餅まきを行った。
 ・木工教室…親子参加で本棚、木箱、ゴミ箱、小物入れ、ペン立て、コースターの製作を行った。
 ・木とふれあい体験…釘早打ち、積み木高さ、木材早切り競争を体験した。
 <成果>
 ・平成24年から継続し、5回目の参加となり、模擬上棟式は会場で一番の盛り上がりとなった。
 ・子供達に、ものづくりの楽しさを感じてもらえた。
 ・建設業従事者(若い世代)との交流を深めることができた。

●集客方法
 ①会場ホームページに掲載 ②地域広報誌に掲載 ③Facebook案内 ④スタッフによる声かけ ⑤事前開催イベントでの声かけ

●活動収支
 収入 企画運営団体内事業費約3万円、補助金約27万円 支出 約30万円

●来場者	運営側	企画運営団体内事業費約3万円、補助金約27万円			参加者	支出				計
		建築士会	他団体	計		会員	建築士	一般	子ども	
		8	14	22						

連携・協力組織 主催：かつの元気フェスタ実行委員会 事務局：鹿角市産業部農林課、鹿角市社会福祉協議会



写真①

写真②

●今後の課題
 ・建築士の役割を知ってもらうためには、かかわり方が不十分であった。

●今後の計画
 ・建築士をもっと知ってもらうためのブースの作りこみをしたい。

問い合わせ先 秋田県建築士会鹿角市支部 担当者 安保 尊

連絡先 TEL 0186-30-3500 FAX 0186-30-3600 e-mail towada.bk@sepia.plala.or.jp

ホームページアドレス <http://akitakenchikushikai.or.jp/kazuno/index.html>